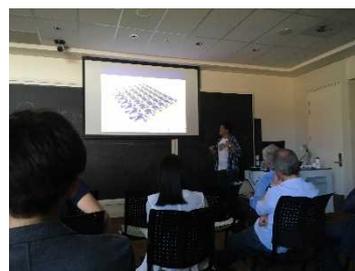


オーストラリアでの滞在を終えて

物理工学専攻 古澤研究室 博士課程1年 アサバナント ワリット

2019年2月11日から3月2日の3週間において、オーストラリアを短期訪問した。その内容について以下報告を行う。まずは最初の週はオーストラリアの量子情報量子通信センター(CQC2T)のワークショップに参加し、2週間はUniversity of New South Walesの米澤講師のグループのところに滞在し、3週間は東京大学とオーストラリア国立大学(ANU)が共同で主催する量子技術のワークショップに参加した。オーストラリアでは私が携わっている連続量量子情報処理の研究が盛んに行われており、3週間にわたって様々な研究者と知り合うことだけでなく、今後の自分の研究にも繋がるような議論もでき、非常に有意義な滞在だった。

今回の滞を通して、オーストラリアにいる同分野の研究者と交流し、研究についてのディスカッションを行うことで、自分の研究を他者に伝えるコミュニケーション能力のみならず、他の研究を聴くことで自分の視野を広げることの大切さもまなぶことができた。



左：CQC2T ワークショップでのポスター発表 中：米澤講師と写真 右：ANU での発表